

2025年度 ビールの原材料に関する公開質問回答 2025年3月

2025年度		アサヒビール(株)	キリンホールディングス(株)	サッポロビール(株)	サントリー(株)
質問①原材料について	コーン	分別生産流通管理済み(遺伝子組み換えでない)			
	スターチ	分別生産流通管理済み(遺伝子組み換えでない)			スターチ使用の製品なし
	糖類	不分別(遺伝子組み換え混入の可能性あり)			
質問②分別生産流通管理済み原材料の不分別原材料への切り替えについて、全社切り替え予定なし					
質問③不分別を使用の場合、使用の理由と切り替えた時期について	安定調達を考え、2015年3月から	調達環境が厳しい中、安定調達を可能にするため、2015年製造分から	糖類について、安全性に問題がないと判断したため、2013年から	長期的に安定して原料を確保するため、2015年2月製造分製品より使用	
質問④ゲノム編集トウモロコシの使用について、全社、現時点で予定なし					
質問⑤食品のトレーサビリティについて	原料の入荷記録の保存について、全社保存している				
	製品の出荷記録の保存について、全社、保存している				
	製造ロットと入出荷ロットの対応付け記録の保存について、全社、保存している				
質問⑥ 分別生産流通管理済み原料の表示について、全社、現時点で表示する予定なし					
質問⑦ 気候変動等による原材料の調達等への影響について	現状大きな影響はありませんが、今後気候変動等により主産地の変更が発生する場合はコストへの影響が考えられます。	高温や干ばつによるストレスが増え、収量減少や品質低下が懸念されますが、複数産地からの調達、事前の品質確認を行うことで、製造に必要な数量・品質の確保に努めています。	気候変動により世界的に異常気象が常態化し、特に夏場の高温、乾燥は農産原料の品質・収量を不安定化させ、価格変動や生産者の生活にも影響している。調達面での産地分散に加え、品種改良や栽培技術の高度化など農業分野での技術革新が一層重要になっている。	農作物由来の原材料について、収穫量の減少や品質面での影響が生じるケースが見られております。当社では、こうした状況を踏まえ、特定の産地に依存しないよう産地分散を意識した調達戦略を取るとともに、安定調達及び品質確保に向けた取り組みを進めております。	